

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト みやぎ

No. 16

発行

日本ボーイスカウト宮城県連盟

発行日

平成20年 1月30日

年頭にあたり

日本ボーイスカウト宮城県連盟 連盟長 村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。皆様には夢と希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、ボーイスカウト創始 100 周年の佳節を迎え、第 21 回世界スカウトジャンボリーへの派遣、ポケットキャンプの実施やスカウトみやぎの発行、報道機関への積極的な情報発信等「より良いスカウティングをより多くの青少年に！」の基本方針のもと、スカウト運動の推進と活性化に取り組み、成果を挙げて参りましたことに心から感謝を申し上げます。

さて、青少年期とは、好奇心に溢れ、希望に満ち、失敗や挫折を繰り返しつつもそれらに屈することなく前向きに挑戦し続け、そうした試行錯誤の中で自立した社会人の基礎となる素養や力量を培う時期であります。

しかしながら、近年、学習意欲や就労・勤労意欲、さらには成長の糧となる様々な試行錯誤に取り組もうとする意欲そのものの減退が懸念されております。

その背景には、青少年の自己肯定感の低さや慢性的な疲労感やあきらめ、集中力や耐性の欠如、将来に備えるよりも現在の生活を楽しまたいという傾向がおることなどが指摘されております。

私たちは、これらの課題への責任を他者に転嫁することなく、今後一層、スカウト運動が果たすべき役割が増していることを自覚し、使命感をもって活動を続けてまいりたいと思います。

そのためには、「誰が何をすべきか」という第三者の発想ではなく、私たち一人ひとりが「まず自分の立場でできることから取り組もう」という当事者の発想に立ち、青少年の自立へ向けた、小さくとも信念のある取り組みを丁寧に積み重ねていくことが大事であると考えます。

今後とも青少年に意義ある活動を提供し続けられるよう、皆様と力を合わせて前進し続けていきたいと思ひます。

最後になりますが、子年は「繁栄」につながる年と言われます。一人でも多くの青少年がスカウト運動の魅力を知り、一緒に活動する新しい仲間となることを期待すると共に、皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念致しまして年賀の挨拶とさせていただきます。



『新年を祝う会』（仙台第1団・泉社会福祉センター）

「より良いスカウティングをより多くの青少年に」

平成 20 年 1 月 19 日（土）県連事務所にて

出席者（敬称略）



ボーイスカウト宮城県連盟

理事長 千田 好男

ボーイスカウト宮城県連盟

副理事長 芳賀 文蔵

ボーイスカウト宮城県連盟

泉第1団 砂押 名湖

＜つづけさせて良かったスカウト活動＞

堀越 広報委員長

あけましておめでとうございます。

今年はねずみ年、「十二支の始まりで子どもが増えて家が栄える」のたとえがあります。この年をきっかけに宮城県連盟もスカウト運動を多くの方に知っていただく始まりの年にしていきたいと思います。

そのきっかけのひとつとして、宮城県連盟 千田理事長と保護者を代表として泉1団の砂押様、宮城県連盟 芳賀副理事長にお集まりいただき、スカウト関係者はもちろん興味ある方々にもスカウト運動を理解していただく良い対談になるようすすめたいと思います。

それでは理事長から口火をきっていただきましょうか。

千田 理事長

今回、直接保護者の方とお会いし、お話できる機会が作れたこと、とても感謝しております。

まず、隊員を持つ母親の立場から現在のスカウト運動について忌憚無くご意見を頂きたいのですが。

砂 押



千田 理事長

現在うちの子供は高校生になり、残念ながら地元でのスカウト活動が出来なくなっておりますが、いつもメールの中にスカウト活動が続けてよかった、あの時の経験が活かされているとっております。

今思うと活動中は隊長に任せっぱなしで、役にたっているのかなあと心配しておりましたが、つづけさせてよかったと思っております。

千田 理事長

それはとても心強いお話を聞かせいただきありがとうございます。

スカウト運動の一番の良い所は幼児期から成人になるまでの一貫教育、普段は遊びを通しての活動のため理解することは難しいですが、結果として役に立つということを気づいていただいたこと理事長として嬉しく思います。

この良い活動がより多くの子どもたちに体験していただくために、ご意見をいただければと思います。

<スカウトを取り巻く環境も変わってきていますよ>

砂 押

まず、現在若い保護者の方が多くなってきており、スカウト運動を取り巻く環境も変わってきていると思います。

プログラムはもちろん、リーダーの資質、金銭面においても感覚が違ってきているので隊長はもっと保護者の方々の話を聞き、コミュニケーションを取るべきだと思います。

千田 理事長

その通りだと思います。県の理事会でもその点を重視して計画を進めている所ですが、その趣旨が理事会、リーダーからなかなか保護者の方に伝わっていないのが現状です。

先ほどお話いただいた、保護者の方々との十分な話し合いについては、普段から出来ていると思っておりましたがまだまだ不足していたようですね。

良いお話が聞けました。

<スカウトの活動は奉仕活動や募金活動だけではない>

砂 押

息子をボーイスカウトにいられて良かったと思ったのは、ボーイスカウトの技能に対して自ら挑戦修得し、それを生活に活かされていたことです。

ただ、一般にボーイスカウトというとボランティア活動、特に募金活動やキャンプのイメージが強いと思いますので、その辺のPRも足りないのではないのでしょうか。

芳賀 副理事長

そうですね。「ボーイスカウト＝奉仕活動」というイメージが強いかもしれませんね。現在の活動を見ていただき、一般の方々が思うイメージと違う、身近なボーイスカウトを感じていただくことが必要ですね。

また、スカウト関係者の中にもボランティアの活動ということに甘んじて、理解している人だけがこの運動に参加すれば良いと思っていることもPR活動をおろそかにしている原因かもしれませんね。

千田 理事長

県連盟としても、「より良いスカウティングをより多くの青少年に」を合言葉にこの運動を一般の方々にも理解していただき、活動に参加してもらえるようにして行きたいです。

なお、宮城県連盟も宮城県知事でもある村井連盟長と共にスカウト運動を主導して行きますのでみなさんもよろしくお願いします。

堀越広報委員長

今回お集まりいただいたみなさんのご意見をもとに今後の広報紙作成に活かしたいと思います。

終わりに、ボーイスカウト、野外活動の中での日常訓練はもとより、その成果として子供たち隊員との互いの語り合い(ともに語ろうキャンプの夜を)を心に、今後の互いの運動の方向づけにしたいと思います。

本日はありがとうございました。



泉第1団 砂押さん



芳賀 副理事長

以上

※3ページ企画ですが、季節近々の地区団記事が多く寄せられたため、対談Part2は改めて継続号で。

広報委員長

新春弥栄 2008

ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長	村井嘉浩	県コミッショナー	千葉義博	地区事務長	
副連盟長	郷家照夫	トレーニングチームディレクター	佐藤友秀	(仙南地区)	中畑義巳
相談役	結城時男	名誉会議議員	堀江一男	(東北地区)	高橋 忠
	郷家智道		大久保孝	地区コミッショナー	
先達	佐々木重兵衛		中鉢 宏	(石巻地区)	松本公一
長老	横谷善作		色川新治	(県北地区)	高橋孝規
理事長	千田好男		布施孝之	(仙台地区)	小山 猛
副理事長	芳賀文蔵		日下 清	(仙南地区)	布田貴志
理事			安達清守	(東北地区)	小野幹治
(学識経験)	菅野五郎		山田清八		
	新沼壽一		鯉谷正幸		
	堀越祐寿	顧問	大場 卓	ボーイスカウト宮城県連盟	維持財団
	渡辺七郎		愛知治郎		
	大久保晃男		中野正志		
	横沢 繁		斎藤正美	顧問	佐々木重兵衛
	大丸正則			理事長	郷家照夫
	村上佳司	地区協議会長		専務理事	松原健二
(地区代表理事) 地区委員長		(県北地区)	渡邊昭彦		
(仙南地区)	南館重義	(仙台地区)	野中孝三		
(仙台地区)	井藤 晃	(仙南地区)	堀江一男	ボーイスカウト宮城県連盟	
(石巻地区)	菊池康博	(東北地区)	郷家照夫	事務局	
(県北地区)	片寄 稔	地区事務長			
(東北地区)	松原健二	(石巻地区)	色川新治	事務局職員	大山由美子
(事務局長)	山田洋司	(県北地区)	富士原孝一		
監事	佐藤善久	(仙台地区)	浅沼 勝		
	野中孝三				

～叙勲弥栄～

布施 孝之 氏

平成 19 年 11 月 11 日 叙勲の栄に

旭日双光章 受章 《地域保健医療（学校歯科医療）》

ボーイスカウト宮城県連盟顧問

名誉会議議員

迫第 1 団 団委員長

塩竈市社会教育功労

菊池 信 氏

塩釜第 1 団 団委員

土井 貞一 氏

塩釜第 1 団 団委員

みんなで登った泉ヶ岳

ぼくたちカブ隊は、泉ヶ岳に登りました。今まで何回か山登りもした事があったので今回も大丈夫だなと思っていたら、大きな石とかたくさんあって、登るのが大変でした。水神池には、副長と友達が一番にしていたのでびっくりしました、ここで休けいしたのでなんとか山の頂上に登りました。登りきった時はすごく気持ちよかったです。帰りはきりがすごく道が見え

石巻第2団カブ隊 高橋 佑典
ない位でした。それでも歩いたら、虫が目や耳に入っていたかったです。でもカブ隊での一番の思い出になりました。雪がふったらみんなで雪合せんがしたいです。



年の初めのユニセフ募金

初詣客で賑わった平成20年1月2日、我が岩沼第1団は育成母体の竹駒神社の境内で、正月の恒例行事となっているユニセフ募金を、ボーイ隊4名カブ隊10名ビーバー隊3名リーダー10名、団委員2名及び父母兄弟3名の総勢32名が参加して行われました。

しかし初詣客の多さに恥ずかしさがでたのか、いつもの元気が影を潜めてしまい、大きな声が出



ないスカウト達も原間井隊長の気合いで声を出し始めると、最初は遠目で見ていた初詣でのお客さん達も寄って来てくれました。

岩沼第1団カブ隊副長 ^{もりいえ} 守家 正志

寒い中、スカウト達の熱意が伝わったのか、暖かい言葉で激励をしていただいたり、募金をすることで、新年早々良いことができた



と喜びの声とともに募金をしていただきました。

スカウト達は、これらの方々に対し、この日の為に作った折り鶴を渡し感謝の意を表しました。

このようにして、沢山の善意に恵まれて、平成20年のユニセフ募金活動を喜びと感謝の裡に無事終了することができて、今年一年のスカウト活動の無事を竹駒神社に祈願して解散しました。

団委員・隊指導者・保護者懇話会開催

11月17日(土)午後、広瀬市民センターにおいて平成19年度仙台地区団委員懇話会が開催されました。今回は東北少年院次長、門脇高次先生をお迎えして「揺れ動く青少年の心ー青少年の健全育成への課題ー」というテーマで講演をして頂きました。先生自身少年時代に親に反発して家出をした経験や友人が少年院に入ったことをきっかけに17才で少年院の先生になることを決意したことなどを紹介し、青少年を取り巻く環境とその変化、非行が家庭の問題(夫婦関係の不良、親子関係の不良(虐待・体罰、不道德、軽率)、養育態度の不良(教育放棄、過干渉、許容性肥大)等に端を発していることが多いこと、少年院における教育の基本は、相手の立場に立って、その感情や考えを理解しようとする心の働き、すなわち「共感性」を育むこと。

仙台地区総務委員長 菅原 誠一郎
人を思いやる心を育むこと。協調性を育むこと。責任感を育むことであり、これらは班制教育や誓いとおきての実践などスカウト教育の目標と一致していること、私たち大人は「今、何が出来るか」をいつも問い掛けて、できるところから誠実に手を組んで実践していくことが大切であると熱く語った。



石巻 6 団合同芋煮会報告

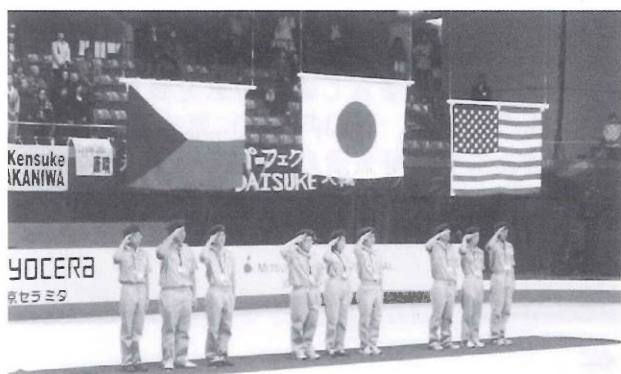
石巻 6 団ベンチャー隊議長 北村 洸

今回、この芋煮会を企画した議長の北村洸です。日頃、カントリー大作戦などの団行事でしか関わりの合うことのなかった隊のスカウトたちとどうにか石巻 6 団の中で気兼ねなく話すことのできる場を設けようと思いました。後輩のスカウトたちや、保護者の方々に喜んでもらえて、この企画は大成功に終わり、企画者としてはとても満足しています。小さいカブ隊と鬼ごっこもしました。運動不足だった僕にはとてもいい運動でした。またこのような企画ができればと思っています。



2007 NHK杯国際フィギュアスケート競技大会国旗掲揚奉仕

仙台地区副委員長 渡邊 裕



フィギュアスケート発祥の地、仙台市（五色沼）で初めて国際競技大会（国際スケート連盟公認グランプリシリーズ 2007）が開催される事になり表彰式の国旗掲揚奉仕の依頼があった。11月29日ベンチャースカウト10名と地区役員3名が仙台市体育館に集合、IDカードを受け取り入場、競技終了後、2人1組となり掲揚のリハーサルを行なった。しかし、ボーイスカウトの掲揚方法と違い戸惑いがあった。

30日はペアの表彰式があり国旗掲揚を行なったが、どうもすっきりしない。そこで3人1組に変更、急遽スカウトの増員手配をした。この日は女子シングルのショートプログラムを観戦。

12月1日は早めに集合してリハーサルをした。女子シングルは安藤美姫選手は残念ながら4位、竹田奈也選手が初めての出場で3位（銅メダル）と健闘し日章旗が掲揚される。続いて、アイ

スタンスの表彰式とこの日は2回掲揚、無事終了。

12月2日はいよいよ最終日、スカウトが日替わりの為早めの集合よりリハーサル、男子シングルの表彰式で高橋大輔選手が金メダル、国歌が演奏、日章旗が中央に掲揚される。

表彰式後、4日間奉仕した充実感でスカウトの笑顔、そして全員で記念撮影。奉仕したご褒美にエキシビションを見させていただき大感激でした。

奉仕したスカウトは延べ37名（仙台1団2名・仙台12団2名・仙台28団2名・仙台37団1名・名取1団4名・名取1団RS1名）地区役員は延べ14名（4名）の計51名でした。



鎮守の森で輪になろう

菊薫る10月21日「鎮守の森で輪になろう」の合い言葉で、宮城県神社スカウト協議会（理事長小野目博昭仙台27団育成会長）の野外交渉会が開催されました。

本協議会はボーイスカウト仙台27団と岩沼1団及び岩沼のガールスカウト宮城18団の3ヶ団が加盟し、大崎八幡宮、竹駒神社を夫々の育成母体として交互に活動の主催者となっているので、今年は仙台27団が幹事団となりました。

大崎八幡宮の正殿前に整列、二礼二拍手一礼の正式参拝で活動の安全を祈願して参加者総勢80名は5キロの広瀬川ハイキングに出発しました。

秋晴れのもと、澱橋～中の瀬橋へ、川面からのさわやかな風に会話も弾み、ビーバーも元気に歩いて中間地点の西公園で小休止。さらに西公園を後にして大橋を渡り、三居沢の水力発電所を見学した後、牛越橋の河原一杯に広がった芋煮会の風景を見ながらご父兄の待つ芋煮会場へ到着。そこ

仙台第27団カブ隊長 岩谷 由紀子

で、宮城県風とこくのある山形県風の二つの味を楽しみました。

食後の感謝の後、仙合一高の藤川先生に実験器材を持込んでの環境汚染についてお話を聞き、有意義なひとときを過ごし、最終コースは大崎八幡宮の108段の石段を上って帰着しました。

当番団の担当として多くの方々からのご協力により無事に目的を達成出来たことを感謝し、楽しい一日を終了しました。



平成19年度東部地区女性交流会を開催して

東部地区副コミッショナー 鈴木 美恵子

去る11月18日に、塩釜市寒風沢島にて5回目になります東部地区女性交流会を開催しました。

当日は、時々雨が降るあいにくな天候でしたが、晴れ間にきれいな虹を見ることができました。参加者は日程が変更になったこともあり、大人9名、子供5名と少なかったのですが、船会社の社長さんの案内で野ノ島のハイキングに釣り、海の幸たっぷりの昼食、午後からは木製のチーフリング作りと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

この会は、地区内の女性指導者とこれから指導者を目指す保護者との親睦、相互交流を目的にしています。今回は、男女共同参画の観点から、3名の男性指導者にも参加して頂きました。参加者

からはおおむね好評でしたので、来年の開催も考えております。その際は皆様のご参加ご協力をよろしくお願い致します。



ワイワイ！ お正月遊び

石巻第6団ビーバー隊 隊長 佐藤 早苗

去る1月6日（日曜日）、今年初のビーバーの集会は「お正月遊び」でした。

すごろくや福笑いといった、懐かしいお正月遊びを体験しました。

手作りの福笑いに、真剣な顔で挑戦するスカウト。出来上っていく個性的な顔に一同笑いころげました。皆で楽しく遊んだ後は、おもちを焼いて食べ、心もお腹も、お正月でいっぱいになりました。



これから開催される大会（平成20年1月現在）

1. 第10回日本アグーナリー（平成20年夏：神戸市しあわせの村で開催）
会期：平成20年7月31日（木）～8月4日（月）
2. 第3回東北・北海道ブロックキャンポリー（平成21年夏：青森県東通村で開催）
会期：平成21年7月25日（土）～29日（水）
3. 第7回ベンチャースカウト大会（平成21年夏・全国分散にて開催）
会期：未定
4. 第15回日本ジャンポリー（平成22年夏・静岡県富士宮市朝霧高原にて開催）
会期：未定

【訃報】 元宮城県連盟副連盟長 鈴木久直氏が去る11月16日逝去されました。

氏は、昭和36年に青少年の健全育成のためと、塩釜にボーイスカウトを発団させることに参画され、翌年塩釜第1団（旧塩釜第31団）を発団。推されて団委員長に就任以来、45年の長きに亘り、住職の傍ら、スカウト運動発展に尽くされました。この間、東部地区の設立や財団法人ボーイスカウト宮城県連盟維持財団の設立に奔走され、地区や県連盟の役職を歴任し平成元年に県連盟理事長に、平成7年には副連盟長に就任し、スカウト運動発展に献身されました。これらの功績が認められ、昭和52年日本連盟の功労賞である「かつこう章」を、また昭和61年に「たか章」を受章されております。

長年に亘るご指導に感謝申し上げますとともに、ご功績を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

平成もいよいよ20年に。
スカウトみやぎ、号を重ねての第16号をお届けします。
新企画としての対談は千田好男理事長・芳賀文蔵副理事長とスカウトリーダー・母親最中の砂押名湖編集委員の三者対談。

みやぎのスカウト運動への熱意をかい間見ること多し。
今回、村井嘉浩連盟長からのみやぎのスカウト運動へ熱意が伝わる今号のメッセージに連鎖する対談。
スカウト運動向上にも連鎖・反応の多いことに期待。（堀）

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟
■編集 宮城県連盟広報委員会
委員長 堀越祐壽
副委員長 渡辺七郎
委員長代行 柿沼富雄
委員 高橋 修・大沼茂雄
砂押名湖・久光和明
〒981-0915
仙台市青葉区通町1-6-9
宮城県通町分庁舎内
TEL/FAX 022-234-2359
■印刷 株式会社 小野寺印刷所